

防犯防災部活動報告（案）

1. 活動の総括

今年度も新型コロナ感染症の拡大により、防災活動はかなり制約を受けました。また昨年度に続き地域一斉防災訓練の実施を見合わせました。一方で、感染症を理由に訓練が出来なくても、自然災害は予告なく襲ってくる状況については、最近の国内外での自然災害を目にする度に、その可能性が高まっています。

災害は平時においての心構えや物理的な準備が大切であり、用意を重ね何も起きないことに安堵する姿勢を基本に以下の5つの項目を目標に据えての活動を実施しました。

- ① 備蓄品や防災知識向上（自助の強化）
- ② 災害時の安否確認の実現（共助の確立）
- ③ 非常時の電話以外の代替連絡手段の確保（共助と公助の連携）
- ④ 安全・安心な避難行動の実現（自助と共助の融合）
- ⑤ 適切な避難所運営の確立（自助・共助・公助の結集）

2. 個別の活動報告

上記「1」の①自助の強化では、季刊・毎月の住民向けニュース紙面を通じた広報での情報発信（後述2-(2)参照）、10月に実施した「避難スイッチ講習会」を通じて、住民の防災意識の向上を目指しました。

②共助による重要な防災活動として、安否確認訓練が地域内の一団体で実施されました。今期も一斉訓練が出来なかったことで、地域全体での安否確認訓練が実現できず、住民の命を守る重要な活動として、これを怠ることの負の課題解消が大きな宿題として残っています。

③の非常時の連絡手段は、上記安否確認に付随して重要な項目であり、電話以外の連絡手段の確保が欠かせないことを、改めて各団体や住民に理解を求める必要があります。今期は、11月に柏市沼南近隣センター主催の無線機交信訓練が実施され、そのフォローアップを12月に当会防犯防災部で実施、訓練参加状況は別記のとおりでした。なお、現時点での当地域内の簡易無線機による連絡網の配備状況は本報告巻末【別記】のとおりです。

④は3月の講習を感染症の拡大による影響で実施を取り止め来年度に持ち越しとします。また⑤の活動は、感染症の問題が解決しない限り実行動には移れないことから、今期において全く進展はありませんでした。来期以降に引き継ぐべき課題と捉えます。

個別の活動概要は以下に列記のとおりです。

(1) 具体的な活動内容

活動名称	実施日	主な実施点の概要	参加数
第1回 防災意見交換会	令和3年5月22日	・令和3年度事業活動計画の説明 ・防災訓練の実施に関する解説 ・災害発生時の防災体制（沼南近隣センター説明）	24名
第1回風北ジョイナスの集い	令和3年6月19日	・今期の課題抽出 ・メンバー募集チラシ作成	13名
第2回 防災意見交換会	令和3年6月26日	・地域防災現状と課題の解説 ・学校と地域住民の連携（柏市学校教育課説明） ・風北ジョイナス活動報告	27名
講習会	令和3年10月16日及び同年同月23日	・避難スイッチ講習会（柏市防災研究会）【避難行動の適切なタイミングを学ぶ自助強化の取組み】	43名
第3回 防災意見交換会	令和3年11月27日	・地域団体での「防災スイッチ」発動の説明 ・各地域団体での今期防災訓練の紹介 ・簡易無線機を使用した交信訓練（柏市沼南近隣センター主催）☆	25名 ☆21名 16団体
第2回風北ジョイナスの集い	令和3年12月19日	・風北ふるさとウォークラリーへの協力 ・メンバー募集チラシ作成（継続）	13名
第4回 防災意見交換会	令和4年3月26日	・今期活動の総括と来期事業活動案 ・次期防災体制に関する連絡手段の登録依頼	〇〇名
第3回風北ジョイナスの集い	令和4年3月26日	・今期活動総括と来期の活動案の協議 ・メンバー募集用活動紹介リーフレットの作成（継続）	〇〇名

(注)令和3年7月~9月、令和4年1月・2月は新型コロナ感染症拡大を理由に実施を見送った。
実施会場は全て「沼南近隣センター内会議室（10月16日は大ホール使用）」でした。

(2) 住民向け情報発信件数（防災情報12件・防犯情報12件）…添付参照

配信情報	発信件数
防災ネットワーク通信	計9号をHP掲載
風早北部防犯情報しょうなん	計12号をHP掲載
広報しょうなんにも防災情報を掲載	計3号に関連情報掲載

3. その他

(1) 柏市総務部防災安全課との協議

一昨年12月に当会会長から柏市長宛てに「コロナ禍での大規模災害への対応（改善要望案）」を7つの項目で提出、当該要望に対する柏市からの回答が昨年12月23日に実施されました当会との協議において明らかとなりました。

今回の市回答には、柏市総合防災訓練実施時期である11月期に防災訓練の実施を全市民・各地域団体向けに呼び掛けること、防災行政無線の運用改善（無線設備の部分的使用の実現）につき予算確保を含め実行すること、各地域内集会施設等への災害備蓄食材の配給を希望する団体に行うこと、住民避難手段の一つである「車中避難」の実現に向けた車中避難場所に関する調査の実施など前向きな回答が見られました。

(2) 柏市水道部総務課等との協議【4月下旬までに実施した際に加筆】

一昨年12月18日の実施した当会防犯防災部と市水道部との協議の後、当該協議で判明した課題を中心に実務担当者との間での連絡調整が続きました。今年度においては、今年3月〇日に同部関係者との面談による協議が開催されました。

その結果、

【別記】各団体別簡易無線機/トランシーバー3R5W出力型機種の利用状況

(当会独自調査結果による：記載のない団体で交信手段をお持ちの場合はご連絡ください)

保有団体名	団体独自所有台数	当会保有貸出台数	合計
大井区新舟戸町会	1	1	2
同 井堀内町会		1	1
同 追花町会	4	1	5
同 柏東パークホームズ管理組合	2		2
同 中の橋町会		1	1
同 舟戸町会	3		3
同 沼南エリカマンション管理組合	1		1
大島田区	3		3
塚崎区	5	1	6
塚崎二丁目自治会	3		3
塚崎三丁目自治会	1		1
大津ヶ丘一丁目町会	3		3
大津ヶ丘二丁目町会		1	1
大津ヶ丘三丁目町会	2		2
大津ヶ丘四丁目町会	1		1
サンパワー区管理組合		1	1
大津ヶ丘第三住宅管理組合	1	1	2
大津ヶ丘第五住宅管理組合	1		1
プロムナード大津ヶ丘団地管理組合		1	1
塚崎パークヴィラ自治会	1		1
リバティーヒル柏自治会	2		2
手賀の杜自治会	5	1	6
桐友学園/沼南育成園	7		7
ふるさと協議会		7	7
柏市沼南近隣センター	1		1
合計	47	17	64

